

# 広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業

＜圏域内の市町が抱える地域課題や大学等に期待する取組＞

区分	テーマ	地域課題の概要
③交流・移住・定住の促進	多文化共生のまちづくりの推進	・外国人住民も地域社会の一員として活躍できるような環境づくりを推進していく必要があるが、外国人住民が地域と関わりを持つ機会が少ない。

市町名	市町の地域課題・取組	大学等に期待する取組
大竹市	外国人居者のニーズ把握ができていない。	外国人居者のニーズ把握の手法を検討していただきたい。
東広島市	既存の多言語による相談業務や日本語教室の開講等を通じ、多文化共生のまちづくりを行っているところであるが、保育所や学校現場で外国人児童・生徒も増加する中、運営サポートが必要な案件も多くなっている。 市外国人市民数は増加が続いており、様々な地域で暮らす外国人が増えると予測されるが、多言語対応や人材確保にも苦慮している。	地域とのつながりが希薄な外国人が多い中で、どのような取組を行えば、地域・外国人双方がつながりやすくなるのか、その方策を研究していただきたい。
安芸高田市	外国人市民の日本語学習支援並びに、本国で教育を受けた外国人の子どもに対する学習支援（学校授業対策、受験対策）が課題となっている。	学習の必要がある外国人市民への日本語学習支援並びに学校の授業対策、受験対策を定期的に行っていただくなど、効果的な方策を提案し、実践していただきたい。
海田町	人口に占める外国人の割合が県内でも上位にある本町において、行政サービス等に関するきめ細やかな情報の提供は大きな課題となっている。	町の発行物（紙媒体、データ問わず）の多言語化（やさしい日本語、発行物の再編集等含む）に協力していただくなど、効果的な方策を提案し、実践していただきたい。
坂町	人口減少による人手不足等に伴う外国人労働者の受入れが増えるなど、外国人人口は増加していくことが見込まれる。	日本人と外国人が同じ町民として安心して生活できるための方策や、実証事業を検討していただきたい。
世羅町	多文化共生の取組について、検討段階で具体化できていない。	技能実習制度の見直しによる、行政の取組を提案していただきたい。
岩国市	外国人住民の人口が増加傾向にあり、多国籍化も進んでいる状況で、円滑なコミュニケーションができ、安心して暮らせる多文化共生が実現した地域づくりは急務である。	円滑なコミュニケーションの第一歩として、社会生活の中で「やさしい日本語」を広く普及していく取組について検討していただきたい。
周防大島町	国籍の違いにかかわらず、誰もが住みやすい多文化共生のまちづくりを推進していく必要がある。	外国の方にも住みよいまちづくりを進めるための施策を検討していただきたい。
上関町	中学生の海外研修の実施や歴史的に関係の深い朝鮮通信使関連地、関係団体との交流等を行っており、地域に根差した国際交流の推進をしている。	今後も外国人との交流の機会が増えることが見込まれるため、多文化共生のまちづくりを進めるための方策を検討していただきたい。

市町名	市町の地域課題・取組	大学等に期待する取組
田布施町	<p>田布施町は、町内在住の外国籍の方の割合が低く、結果として町民と外国籍の方が交流する機会が少ない。学校の授業等での関わりが中心となっている。</p>	<p>学校の授業等の関わりだけでなく、多くの町民が多国籍の方と関わるができる取組を検討していただきたい。</p>
邑南町	<p>移住者や障がい者、外国人への理解が十分ではないと考える。福祉施設や工場の従業員として外国人を受け入れているが、誰もが住みやすいまちづくりをしていくために相互理解が必要だと考える。</p>	<p>町内でも外国人のサークルがある。外国人だけではなく、そういったサークルを町民向けにPRしていただきたい。その結果として町民との交流に繋がればよいと考える。</p>